



全日本サマーコンバインド朝日大会で64.0mの最長不倒をマーク

大平⁴位 調整順調⁶位

サマーコンバインド朝日大会
サマージャンプ大会

ノルディック複合

ノルディック複合競技、ソチオリンピック日本代表の本町出身、加藤大平選手(30)が北海道で開催されたサマースキー大会に出場した。

7月25日の土別市朝日町で開催の全日本サマーコンバインド大会では、前半9kmローラースキーで8位と出遅れたが、後半のジャンプで64m(K点60m)の最長不倒をマークし4位に入賞。翌27日に名寄市で開催の名寄サマージャンプ大会では、91m(K点90m)を飛び、ソチ五輪メダリストの竹内択選手や葛西紀明選手などのジャンプ選手と互角に戦い、堂々の6位入賞を果たした。



サマーコンバインド朝日大会で4位入賞



名寄サマージャンプ大会で6位入賞の加藤大平選手

加藤選手は「走った内容が悪い。何が悪いのか見直していきたい。ジャンプに関しては好調な仕上がりで来ている。細かい修正点はいくつもあがるが、純粹に喜んでいいと思う。」と大会の成績を振り返っていた。

8月〜9月は全日本の合宿や、サマーグランプリヨーロッパ大会遠征中の加藤選手。冬の本番に向け、調整は順調、心配していた肘の状態も心配は無いようだ。